

会 議 名	平成 2 2 年度第 4 回港区 3 R 推進行動会議
開 催 日 時	平成 2 3 年 2 月 2 8 日 (月) 午前 1 0 時から 1 1 時 3 0 分まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ 3 階会議室 A
委 員	(出席者) 崎田座長、内藤裕子委員、北村委員、木原委員、 榊中委員、藤野委員、小林委員、鈴木委員、臼井委員、高木委員 (欠席者) 桜林委員、内藤俊之委員、島村委員、亀田委員、 横山委員、今福委員
事 務 局	北川
傍 聴 者	「なし」
会 議 次 第	区挨拶 1. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食の 3 R 講座 ・ エコ弁当教室 ・ エコレシピ募集 ・ 無駄のない買い物を学ぶ見学会 2. 3 R フォーラム 「 “ 食 ” から始める 3 R 」 開催案内 3. 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 2 3 年度の事業の方向性について 4. 次年度の予定 <ul style="list-style-type: none"> ・ エコライフ・フェア出展 ・ 一般廃棄物処理基本計画改定に伴う行動計画の見直し
配 付 資 料	[事前配付] なし [席上配付] 1. 港区に広める食の 3 R 講座～食べ物大切に～開催報告 2. 野菜ソムリエ C a n a c o さんに学ぶエコ弁当教室開催報告 3. 無駄のない買い物を学ぶ見学会開催報告 4. 港区 3 R 推進行動会議の平成 1 9 年度以降の取組み 5. みなとクリーンプラン 2 1 (p 3 6 ~ 3 8 抜粋) <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 R フォーラム “ 食 ” から始める 3 R チラシ ・ 事業者対象生ごみ減量セミナーチラシ ・ 第 3 回企画会議議事録要旨

主な発言・報告内容

1 報告事項

事務局からの報告

「港区に広める食の3R講座～食べ物を大切に～」について

12月16日に、座長の崎田裕子氏を講師とし、食の3Rに関する講座を開催した。「食べ物」を大切に作る、無駄なく使う、ごみとして出す量を減らす工夫(=食の3R)を考えるため、食品ロスの実態や取組みの事例紹介、参加者の取組み事例発表を行った。身近な視点で「食品ロス削減」の取組みを情報共有することができ、分かりやすく「食の3Rの大切さ」を伝える機会となった。「食品ロス」の話題を本講座のみで完結させてしまうのではなく、その後の区民向け講座においても継続的に情報提供を図っていく予定である。

「野菜ソムリエCanacoさんに学ぶエコ弁当教室」について

1月20日に、野菜ソムリエCanaco氏を講師に招き、普段の料理で捨ててしまいがちな野菜の葉や皮を活用したエコ弁当教室を開催した。主に在勤者をターゲットとして、家庭や会社でも手軽にできる生ごみ減量の工夫のきっかけづくりとなった。

「無駄のない買い物を学ぶ見学会」について

2月25日に、「無駄のない買い物」を学ぶため、生ごみのリサイクルや、地産地消野菜の販売など、環境に配慮した取組みを行なっているスーパーマーケットを見学した。生活の中で接する機会が多いスーパーマーケットが実践している「ごみ減量への工夫」を知ることによって、消費者としてできること(=無駄のない買い物の実践)を伝える機会となった。

主な発言

- ・ 各イベントにはどのような参加者が出席したのか知りたい。どの時間帯に講座を設定するかによって誰をターゲットにするかが決まっていく。参加者の傾向も今後は報告書に記載してほしい。
- ・ 各イベントでそれぞれターゲットを決めたのがよかった。保育を用意するなど、若いお母さんが参加できる機会はよい。
- ・ 「無駄のない買い物を学ぶ見学会」に関して、スーパーマーケットの生ごみを出すバックヤードは見学ルートに入っていなかったがそこを見学したかった。
- ・ スーパーマーケットの見学は消費者が企業の取り組みを知るきっかけなので、進めてほしい。参加者が何に驚いたのかという発表会を3Rフォーラムで設けられれば良かった。

2 3月フォーラム「食」から始める3R」開催案内

事務局からの説明

3月9日(水)から13日(日)の5日間にかけて港区立エコプラザにて開催する。1月13日(木)に開催された企画会議で出た意見を基に企画を作成した。5月・11月に実施し好評だった古着の資源回収を、廃食用油の回収と併せて、3月10日(木)から12日(土)の3日間、10時から12時に実施する。「事業者対象生ごみ減量セミナー」は3月11日(金)14時から16時に、「食の3R」に関心のある事業者にターゲットを絞った形で開催する。「小さな家具のリサイクル展」は港区清掃リサイクル課で実施している事業で、3月12日(土)に開催する。「3R・サンデー」は3月13日(日)13時から15時50分に開催する。ここでは「3Rの紹介」「3R漫談」「エコレシピトークショー」「段ボールコンポストを広めるひろば」を開催する。「ブース展示」では港区3R推進行動会議の取り組みと区内で広がる「食の3R」の取り組みをパネルや実物を展示して紹介する。

主な発言

- ・ 3Rフォーラムでの「段ボールコンポストを広めるひろば」に関して、受講生とともに話せるのは心強い。コンポストをつくるだけでなく、それをどう活用していくかを伝えていきたい。段ボールコンポストを始めると、「生ごみが出て平気」というより、「どれだけ生ごみの発生を抑えられるか」という考えになっていく。
- ・ 食品リサイクル法が制定され、食品のリサイクルが義務化されてきている。また、港区では紙ごみも多く出ている。そこでみなと清掃事務所では今年度、紙ごみのリサイクルの徹底を事業所をお願いしている。
- ・ 食品リサイクルについて、食品残さのリサイクルが進んでいない。これについては事業者に取り組んでもらいたいテーマである。
- ・ 一方通行のセミナーではなく、ワークショップのような話し合える形式にしたほうがよい。会議の提案等の効果実績の指標がほしい。

3 意見交換

主な発言

- ・ 情報の流し方を工夫することによって手間とコストをかけずに広報できるはずである。
- ・ 事業者それぞれ事業内容が異なるので、ワークショップ形式にして他の事業者の話を聞けるのは有意義で効果的だと感じる。次年度の展開については全体に広めることと、個々に話し合うことは両方進めたい。
- ・ 来年度の取り組みについて、先進的な事例を多く紹介していくのもよい。
- ・ ごみの出し方についてルールの普及が必要。また、生ごみの水切りはどのようにすれ

ばより減量できるのかなど、具体的な紹介も必要である。

- ・ スーパーマーケットの見学会では、初めて消費者と事業者がつながることができた。実際に事業者の実例を見せてもらったのは説得力があった。今回は港区ではなく八王子での事例だったが、このような機会を増やしてもらいたい。
- ・ お店の都合のいい時間や曜日があって、定期的に見学させてもらえるスーパーがあればよい。
- ・ ホテルの分別についても気になる。事業者が何をしているのかを知ることにより、消費者も3Rを推進できる。

4 次年度の予定

一般廃棄物処理基本計画改定に伴う行動計画の見直し、エコライフ・フェア出展について
事務局からの説明

- ・ クリーンプランの改定と併せて、3R推進行動会議の行動計画も見直していく必要がある。
- ・ 5月21日に有栖川宮記念公園で開催が予定されているエコライフ・フェアに出展する。

主な意見

- ・ ごみ減量をするのは行政ではなく区民。行政から言われて何かをするのではなく、やりたい人たちを吸い上げる仕組みをつくる。例えば某自治体では募集したところ200人応募があって、皆が参加している。やりたい人たちを探すよう、区民に声をかけることが必要。
- ・ 本当にごみを減らす危機感を全員で感じ、首長が発信することが大切。事務局を活かしながら、委員が広めていくことにより、もっと環が広まっていくように感じる。
- ・ 実践の行動を考えていく必要がある。食だけでなく、紙等も同時に進行させ、実践につなげていく。
- ・ 地域性を考慮し、ターゲットをしぼって進めていくのもよい。
- ・ 消団連ではレジ袋削減に注力しているが、フランチャイズの店舗は本部体制なのでお店だけではできない。そのため消費者がもっと積極的にならなくてはならない。
- ・ レジ袋に限らず、容器包装を減らしていくために事業者と消費者が一緒に考えていく必要がある。
- ・ 3R推進行動会議だけではなく、区として方向性を決め、具体的な取組みを明確化していく必要があるように感じる。